



まなざし



1 学期終業式号

熱く燃えた中体連～部活動について考える

渡辺 隆正



6月25日の卓球競技を皮切りに、夏の中体連の大会が始まりました。市郡大会がなくなり、熱中症対策で朝早くから始めて午前中に終わるスタイルになるなど、数年前から新たな方式で行われている中体連の大会ですが、この夏に向けて、部が一丸となって練習に励み、この大会に全力を尽くす流れは昔から変わりません。本校の生徒たちも、一つでも多く勝ち上げられるよう、これまで努力を積み重ねてきました。いくつかの大会会場を応援して回りましたが、どの部も最後の最後まであきらめないで、全力を尽くす姿に胸が打たれました。特に、3年生にとっては最後の大会であり、これまで培ってきた力をすべて出し切ろうとやり抜く姿は、後輩たちの胸に刻まれ、引き継がれていくだろうと感じました。結果は様々でしたが、これまで部活動を通して努力してきたことは、一人一人の力になり、この先の生活できっと役立ててくれると期待しています。

さて、保護者の皆様もご存じのように、休日の部活動の地域移行を、令和5年度より段階的に進めていくことがスポーツ庁より示されました。部活動の地域移行には、次のような効果があるとされています。



- 学校規模にとらわれず、様々なスポーツ、文化活動から選べ、活動の選択肢が広がる。
- その競技や文化活動の専門性の高い指導が受けられる。
- 様々な価値観をもつ人（他校、幅広い年齢層、親や教師ではない人）との交流のなか、成長できる。
- 教員の働き方改革につながる。
- 地域のスポーツや文化活動の活性化につながる。

現在、八百津町でもそれを受けて、少しずつ歩み出そうとしているところです。しかし、受け皿となるスポーツ団体はあるのか、試合に出られる人数を集めるにはどれぐらい範囲を広げてチームを作るのか、指導者の確保はできるのか、指導者への謝金はどうするのか、など課題は山積みです。

（先日の校長会でも話題になりましたが、他県でも地域によって進み具合が随分違うようです。）今後、先進的に進めている他の県や市町村を参考に、いろいろ模索しながら進めていくことになると思います。本校では、今年度末に部活動の存続について方向を示して行く予定ですが、地域移行の動きも見ながら検討していくこととなりますのでご了承ください。

部活動改革の道は茨の道ですが、未来を見据えて持続可能な部活動にしていくことが、子どもたちの幸せにつながると信じて、少しずつ、しかし、着実に進めていきたいと考えています。それには、保護者の皆様のご理解とご協力が欠かせません。様々な場で情報提供やご相談しながら進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



保護者の皆様のご協力により、無事1学期を終えることができました。ありがとうございました。夏休み中も感染対策にご留意いただき、子どもたちにとって有意義な夏休みとなることを願っています。

<夏季休業中の連絡先>

平日 【八百津中学校】43-0137 **8/8~10, 12** 【八百津町教育委員会】43-0390

休日・夜間 【八百津町役場】 43-2111

※日直に「学校に伝えたいことがある」とお伝えください。折り返し連絡いたします。